

2024年3月24日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**  
第66巻第50号(通算3382号)  
教会設立 1959年6月14日

しゅうほう  
**週報**

教会標語

かみさま ひと とも  
神様がすべての人と共におられる  
ことを証ししていく教会



〒581-0072  
大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10  
TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

主任担任教師・牛田 匡 牧師  
担任教師・水谷 憲 牧師  
隠退教師・小林 達夫 牧師

ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)  
<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもって歩みを起こす人がみな、  
滅びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書3:16)

しゅうろ しゅじつれいはい  
**棕櫚の主日礼拝**

じゅなんせつだい しゅじつれいはい  
**(受難節第6主日礼拝)**

れいはい  
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも  
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜんそう もくとう  
前奏(黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば  
招きの詞 ゼカリヤ書 9章 9節

さんびか  
賛美歌 21-305番「イエスの担った十字架は」(©JASRAC)

しょうとう ことば  
消灯の詞

さんびか  
賛美歌 21-307番「ダビデの子、ホサナ」(©教団讚美歌改訂委員会)

せいしよ  
聖書 ヨハネによる福音書 18章 28-40節

いの  
お祈り

さんびか  
賛美歌 21-296番「いのちのいのちよ」(©著作権消滅)

メッセージ 「真実とは何か」 牛田 匡 牧師

さんびか  
賛美歌 21-314番「神の国の命の木よ」(©教団讚美歌委員会)

しゅいの  
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

ささげもの  
献げ物(\*)

はけん  
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅくふく  
祝福 牛田 匡 牧師

こうそう  
後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

ほうこく  
報告 (4頁をご参照ください)

せき すわ  
《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* 「献げ物(献金)」はご用意のある方のみ、お献げください。

<sup>まね</sup>招きの詞 <sup>ことば</sup> ゼカリヤ書 9章 9節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

娘シオンよ、大いに喜べ。

娘エルサレムよ、喜び叫べ。

あなたの王があなたのところに来る。

彼は正しき者であって、勝利を得る者。

へりくだって、ろばに乗って来る

<sup>め</sup>雌ろばの子、子ろばに乗って。



<sup>しょうとう</sup>消灯の詞 <sup>ことば</sup> (参照：ルカによる福音書 22章 50-56節)

イエス様が、十字架の上で息を引き取られたのに、弟子たちのほとんどが逃げてしまい、お墓までも見届けることをしなかったことを思いながら、この6つ目のろうそくを消します。

聖書 ヨハネによる福音書 18章 28-40節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>28</sup> 人々は、イエスをカイアファのところから総督官邸に連れて行った。明け方であった。しかし、彼らは官邸に入らなかった。汚れないで<sup>けが</sup>過越<sup>すぎこし</sup>の食事をするためである。<sup>29</sup> そこで、ピラトは彼らのところに出て来て、「この男に対してどんな訴えを起こすのか」と言った。<sup>30</sup> 彼らは答えて、「この男が悪いことをしていなかったら、あなたに引き渡しはしなかったでしょう」と言った。<sup>31</sup> ピラトが、「あなたがたが引き取って、自分たちの律法に従って裁くがよい」と言うと、ユダヤ人たちは、「私たちには、人を死刑にする権限がありません」と言った。<sup>32</sup> それは、ご自分がどのような死を遂げることになるのかを示して語られた、イエスの言葉が実現するためであった。

<sup>33</sup> そこで、ピラトはもう一度官邸に入り、イエスを呼び出して、「お前はユダヤ人の王なのか」と言った。<sup>34</sup> イエスはお答えになった。「あなたは自分の考えで、そう言うのか。それとも、ほかの者が私について、あなたにそう言ったのか。」<sup>35</sup> ピラトは答えた。「私はユダヤ人なのか。お前の同胞や祭司長たちが、お前を私に引き渡したのだ。一体、何をしたのか。」<sup>36</sup> イエスはお答えになった。「私の国は、この世のものではない。もし、この世のものであれば、私をユダヤ人に引き渡さないように、部下が戦ったことだろう。しかし実際、私の国はこの世のものではない。」<sup>37</sup> ピラトが、「それでは、やはり王なのか」と言うと、イエスはお答えになった。「私が王だとは、あなたが言っていることだ。私は、真理について証しをするために生まれ、そのために世に来た。真理から出た者は皆、私の声を聞く。」<sup>38</sup> ピラトは言った。「真理とは何か。」

## 《先週のメッセージより》3月17日 受難節第5主日礼拝

「もちろん、不安はあるけれど」より

牛田匡牧師

聖書 ヨハネによる福音書 12章20-36節

2月の半ばから迎えていた「レント（受難節）」も、早くも第5週目となり、来週からは最後の受難週となり、2週間後には「イースター（復活祭）」を迎えます。そのような暦を毎年繰り返していると、「受難」も「復活」も毎年恒例のここのように思えてしまうかもしれませんが、今から約2000年前にイエス様が実際に経験された「受難」は、決して当たり前ではない大変な苦難であり、自身の使命と、自分の身に迫って来ている危機的状况との間で、イエス様の心情は大きく揺れ動いていました。24節には「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ」という有名な言葉がありますが、これもイエス様が自信たっぷりに弟子たちや、周りに来ていた人たちに対して、語り教えた言葉というよりは、むしろこれから先に何が起こるか分からない自分自身に向けて、「これから先、仮に命を落とすことになっても、それは無駄死にはではない。そこから多くの実が結ばれ、新しい命がたくさん芽吹いて行くはずだ」と、自身を励ますために口から出た言葉だったのではないのでしょうか。

27節ではより明確に「今、私は心騒ぐ。『父よ、私をこの時から救ってください』と言おうか」というイエス様の不安な気持ちが述べられています。しかし、その一方で「私はまさにこの時のために来たのだ」と言って、自身の使命感についても言及されています。どちらのイエス様が本物でしょうか。その両方、不安と使命感の間で揺れ動くイエス様の姿こそ、私たち人間の本当の姿なのだろうと思います。もしもイエス様が、神の子、スーパーマンとして、何の恐れもなく、不安を感じることもなく、雄々しく受難への道を歩まれたのだとしたら、同じように出来ない私たちは、落第生になってしまいます。けれどもイエス様は私たちと同じ一人の人間として、自身の使命に対する熱い思いは持っていないながらも、同時にいつも迷い、恐れ、そして祈りながら、歩みを進めて行かれました。さて福音書の時代から2000年を経た現在でもなお、世界には様々な問題があふれ、人と人とが互いに傷つけ合っています。一見すると絶望しそうなことがあったとしても、それでも世界が暗闇に閉ざされてしまうことはありません。必ずそこにも光があります。なぜなら、十字架の先には復活があるからです。もちろん、一切の不安がなくなるわけではありません。ですが、神様が常に共にいてくださいます。私たちは日々、神様に支えられながら、与えられている道に歩みを進めて参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook

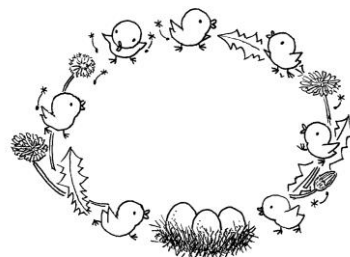


YouTube



◎ 先週の報告 3月17日 受難節第5主日礼拝

礼拝出席 大人3名 献金 大人 3,000円  
中継視聴者数5回 感謝



◎次週 2024年3月31日(日) イースター(復活日) 礼拝

招きの詞 詩編 149編 1-3節

聖書 マタイによる福音書 28章 1-10節

メッセージ 「走って行った」水谷憲牧師

賛美歌 290 (©JASRAC)、304 (©JASRAC)、326 (©P.D.)、575 (©JASRAC)

礼拝後に愛餐会(昼食会)の時間をもちます。どなたでもどうぞご参加ください。

◎お知らせ

- ・本日の礼拝後、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行い、いこい食堂にお届けいたします。どなたでもご参加ください。
- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」は、ホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。
- ・2030年ごろにカジノを招致するためのインフラ整備のために、来年2025年に開催予定の「大阪・関西万博」は、現在会場となる夢洲で工事が進められていますが、会場建築は当初計画から既に倍増しています。既に工期日程も間に合わないと言われている中、建築工事業者が未定という所も多く、更なる増額や、違法工事などのリスクも高まっています。そもそも夢洲はゴミの最終処分場として作られた人工島で、軟弱地盤と汚染土壌という問題を抱えています。それらを含めて、3つの署名が寄せられました。ご賛同下さる方は、それぞれオンライン署名、もしくは署名用紙での署名にご協力ください(署名用紙も、それぞれのウェブサイトからダウンロード可能です)。大阪府以外にお住まいの方も署名できます。

①「大阪のカジノ(賭博場)誘致の中止・撤回を求める要請書」  
(カジノに反対する大阪連絡会)

ウェブサイト <https://no-casino.net/archives/300>

②「有害物質が埋まる万博へ子どもたちを招待しないでください」  
(夢洲カジノを止める大阪府民の会)

ウェブサイト <https://vosakaf.net/>

オンライン署名

③「2025年大阪・関西万博の中止を求める要請書」

明るい民主大阪府政をつくる会 <https://osaka-akarui.com/>



◎ 次週以降の行事予定

オンライン署名

	メッセージ	行事
3/31	水谷憲牧師	イースター礼拝・誕生者祝福式・愛餐会(昼食会)
4/7	牛田匡牧師	ユウカリスト・考える会
4/14	水谷憲牧師	(第二好意の庭・感謝祝福式)
4/21	牛田匡牧師	

